

職業適性タイプ別診断

(California Psychological Inventory 改訂版)

職業適性タイプ別診断とは、カリフォルニア大学の心理学者、ゴーフ教授によって作成された人格目録検査(CPI)にもとづいて開発された信頼性の高い人格判別検査です。

この**職業適性タイプ別診断**は、役割取得理論を背景に多年の臨床活動から得た経験的手法によって、好ましい対人関係に有効な人格特性を設定し、十分な信頼性と妥当性と検討のもとに尺度化したものです。現在アメリカはもとより、ドイツ、フランス、イタリア、スペインなどの諸外国に翻訳され、広く世界で活用されている権威ある人格検査である CPI を、わが国の文化に適合するよう改訂するとともに、若年者でも理解できる用語法に改め、再構成したものが**職業適性タイプ別診断**です。

職業適性タイプ別診断の特徴として、

- ①人格の健全で積極的な側面を把握できるような特性(尺度)によって構成されている。
- ②これまでの多くの人格検査とは異なり、人間の社会的行動や対人関係に広く適用できる。
- ③非行や犯罪など反社会的傾向のある人々の人格の把握にも極めて有効である。
- ④中学・高校・専門学校・大学・会社・官庁・諸施設・カウンセリングセンターなどにおいても広く汎用的に活用できる。

などをあげることができます。

とくに、この**職業適性タイプ別診断**を利用することで、職業生活・集団生活などに不可欠な心的基盤である社会的行動特性を数値的にみることができるようになります。したがって、職業選択の前段階として、その前提になる社会性への性向を知ること、自己改善、自己統制につなげることができます。

この**職業適性タイプ別診断**では、類型化されたおおまかな人格を診断します。類型化は、人のある基準によって分類することによって性格を捉える考え方のことですが、人を分類するという点で理解しやすい性格の捉え方ではあるものの、中間のタイプが無視されやすい、一度ある類型に分類されると別の類型への移行が生じにくい、典型的な人物像に完全に合致する人が存在する可能性が低いなどの問題点もあります。**職業適性タイプ別診断**では、これらの問題点を解消するために、特性論的な見方も併用し、より合理的な人格判別検査として設計しました。